

令和2年9月25日
【第5訂版】

新しい生活様式に基づく新潟市社会教育施設等 利用ガイドライン

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染拡大の防止と社会教育施設等での活動の両立を進めるために、「新しい生活様式」の実践を図りながら、社会教育施設等で行われる活動に係る基本的な考え方を示すものです。

なお、状況の変化があった場合には、本ガイドラインの見直しなどを行うことがあります。

「新しい生活様式」とは（実践例）

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染対策の3つの基本 ①身体的距離の確保②マスクの着用③手洗い

- 人との距離は、できるだけ2m空ける
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 手洗いは30秒程度かけて、水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒液の使用も可）

(2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

- まめに手洗い、手指消毒 咳エチケットの徹底 こまめに換気
- 身体的距離の確保 「3密」の回避（密集・密接・密閉）
- 毎朝 体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず
自宅療養

1 基本的な感染症対策を実施する

○体調不良の方の活動自粛

- ・発熱等の風邪の症状がみられる時や体調がすぐれない方の利用は控える。

○感染予防・感染拡大を防ぐ

- ・入館の際には、手洗いや手指の消毒を行うこと。
- ・施設内ではマスクの着用、咳エチケットを徹底すること。

○「3密」（密集・密接・密閉）を徹底的に回避した上で活動する

密集しない 多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮を行う。

（対策例）

- ・利用人数は、2ページ「3. 特に注意する活動」については、収容定員の50%、それ以外は100%以内の人数とする。
- ・「特に注意する活動」の場合は、長机1台につき、一人など、席の配置を考慮する。
- ・対面となる活動は、できるだけ2mを空けること。

密接しない 飛沫を発生させないように、工夫する。

(対策例)

- ・ 近距離での会話や発声の際はマスクを使用
- ・ 大声を出したり、歌を歌ったりする時は、十分人との間隔を確保し、一方向に向いて活動すること。(マイクを利用する時は、利用者毎に拭くなど感染予防に十分配慮する)
- ・ 息が上がる激しい活動の際は、より一層距離を空ける。
- ・ 特に、飛沫や唾液が床に落ちるような活動を行った後は床を拭く。
- ・ 飲食を伴う活動を行う場合は、手洗いを徹底し、飛沫を発生させないようにする。また、対面での会食を避け、会話は控える。

密閉しない 換気を徹底する。

(対策例)

- ・ 可能であれば2方向の窓を同時に開けること。
- ・ それが難しい場合でも、1時間に10分は窓を開けて換気を行う。
- ・ 活動前に新型コロナウイルス感染症対策チェックリストを確認し、対策を講じる。利用終了後、チェックリストや参加者名簿を記載し、記載したものは、各団体で保管する。
- ・ 活動終了後の会話は控え、できるだけ速やかに退館する。

2 イベントの実施について（市主催のイベント等開催基準から抜粋）

【開催判断の目安】

- ・ 収容率要件については、感染リスクの少ないイベント（各種講演会等）については100%以内に緩和する。
- ・ 個別のイベントのあり方を適切に判断する。入退場や共有部など密集回避が難しい場合、回避可能な人数に制限する。
- ・ 可能な限り事前予約制、あるいは入場時に連絡先の把握。

3 特に注意する活動

○ 集団感染リスクが高い下記の活動は、十分に対策をとること。

- 大きな声を出すことや歌うこと
(例)・合唱、カラオケ、詩吟、民謡、謡曲 など
- 専ら運動することを目的とした活動
(例)・踊り、ダンス、体操、運動 など
- 調理、会食を伴う活動
- 密接が避けられない活動
(例)・囲碁、将棋、麻雀 など

4 活動日の参加者を把握する

参加者名簿を作成し、連絡先を把握しておいてください。(感染者が出た場合に追跡を可能にするための措置。提出は不要。利用団体が2週間保管する)

5 利用を中止する部屋など

・換気ができない部屋の利用は当面の間中止

6 本ガイドライン対象施設(教育委員会所管施設)

対象施設名	問い合わせ先
クロスパルにいがた	クロスパルにいがた(生涯学習センター) 025-224-2088
公民館(42館)	中央公民館 025-224-2088
ゆいぽーと (芸術創造村・国際青少年センター)	ゆいぽーと(芸術創造村・国際青少年センター) 025-201-7530
オール (若者支援センター)	オール(若者支援センター) 025-247-6781
白根学習館	白根地区公民館 025-372-5533
西川学習館	西川地区公民館 0256-88-2334
西川多目的ホール	西川図書館 0256-88-0001
入徳館野外研修場	巻地区公民館 0256-72-3329

7 適用期間

本ガイドラインの適用は令和2年10月1日(木)から当面の間とし、状況の変化があった場合には見直す。(イベントの開催判断の目安については、市主催イベントの開催基準が変更になった場合は、それに読み替えることとする)

8 その他

新型コロナウイルスの影響により、施設内の消毒などを実施するため、予告なく臨時休館する場合があります。ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト 【令和2年10月1日から適用】

団体名 _____ 利用日 令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日 (____ 曜日)
利用時間 _____ ~ _____
部 屋 _____

【ご利用いただく前に】

活動を始める前に参加者全員でご確認ください。

万が一感染者が出た場合に、追跡を可能とするため、当日の参加者を裏面に記載してください。記載した名簿は、各団体で2週間保管してください。

	感 染 症 対 策	チェック欄
1	発熱等の風邪の症状がみられる参加者はいない。	
2	全員マスクを着用する。但し、熱中症などに十分気をつけること。	
3	活動開始前の手洗い、または手指の消毒を行う。	
4	利用人数は、ガイドラインで示す「特に注意する活動」については、収容定員の50%、それ以外は100%以内の人数とする。	
5	近距離での会話は控え、参加者同士の距離をできるだけ空ける。 (対面となる活動は、できるだけ2m空ける)	
6	大声での発声や歌を歌ったりする時は、十分人との距離を確保し、一方向に向いて活動する。	
7	息が上がる激しい活動の際は、より一層距離を空ける。	
8	飲食を伴う活動の場合は、手洗いの徹底、対面での会食を避ける、会話を控える等の対応を行う。	
9	直接、手と手の接触など身体的接触のある活動は行わない。	
10	窓を開けて実施するか、定期的な換気を行う。可能であれば2方向の窓を同時に開け、50分活動したら休憩し、換気を10分行う。	
11	当日の参加者を裏面に記載し、感染者が出た場合には参加者に連絡できる体制をとる。(感染者が出た場合に追跡を可能とするため)	

万が一感染者が出た場合に、追跡を可能とするため、当日の参加者を下記に 団体名
記載してください。記載した名簿は、各団体で2週間保管してください。

No.	氏 名	連 絡 先	備 考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			